

2025年度【観光まちおこしプロジェクト2025】プロジェクトB 活動報告

プロジェクトBは、10月から12月にかけて特別授業として取り組むプログラム。「川越の観光」を共通フィールドに、毎年さまざまなテーマで活動を展開しています。今年度は、テーマ設定の段階から学生主体で進める形式を採用し、一人ひとりが関心のある課題や問題意識を出発点として活動をスタートしました。

10月のキックオフでは、各メンバーが「川越の観光」をテーマに、実現してみたい企画や解決したい課題を持ち寄り、プレゼンテーションを実施。その後、学生同士の議論を通じて提案内容を整理・深化させ、班体制の構築と活動テーマの設定を行いました。多様な視点から多くのアイデアが生まれる中で、共通して浮かび上がった課題が「川越におけるオーバーツーリズムの解消」でした。

そこで今年度は、観光客の分散化を目指した新たな観光拠点の創出を検討する「フード＆アート班」、観光地としての「穴場」を掘り起こし来訪者を誘導する「マップ＆ラリー班」「ツアーゲイド班」、そしてそれらの取組を広く発信する「デジタルプロモーション班」に分かれ、全体会議で連携を図りながら調査研究を進めました。



各班とも今期は調査研究フェーズで活動を終えることとなり、具体的な企画実行には至りませんでしたが、活動を通じて実現に向けた課題や企画内容の修正点、次年度以降に発展させるべきアイデアの種が明確になりました。本プロジェクトを通じ、学生は合意形成や役割分担、意思決定といったプロジェクトマネジメントの基礎を実践的に学び、主体的に地域観光と向き合う貴重な経験を積むことができました。

なお、本プロジェクトは特別授業としては一旦終了したものの、川越市様と企画案に関する意見交換の機会を設けるなど、実現に向けた検討は継続しています。次年度以降のCOC活動の中でどのように芽吹いていくのか楽しみです！